【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公開番号】特開2006-187375(P2006-187375A)
【公開日】平成18年7月20日(2006.7.20)
【年通号数】公開・登録公報2006-028
【出願番号】特願2004-383018(P2004-383018)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　13/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　13/00　　Ｆ
Ａ６３Ｆ　13/00　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月14日(2007.11.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
前記第１、第２の移動方向の反時計方向回転をオン状態で指示する反時計方向指示手段と、
前記第１、第２の移動方向の時計方向回転をオン状態で指示する時計方向指示手段と、
前記第１回転方向指示手段によって反時計方向回転が指示されたときは前記操作対象オブジェクトを反時計方向に回転する反時計方向回転手段と、
前記第２回転方向指示手段によって時計方向回転が指示されたときは前記操作対象オブジェクトを時計方向に回転する時計方向回転手段と、
をさらに備えることを特徴とする請求項１記載のゲーム装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明に係るゲーム装置において、前記第１、第２の移動方向の反時計方向回転を指示する反時計方向指示手段と、前記第１、第２の移動方向の時計方向回転を指示する時計方向指示手段と、前記第１回転方向指示手段によって反時計方向回転が指示されたときは前記操作対象オブジェクトを反時計方向に回転する反時計方向回転手段と、前記第２回転方向指示手段によって時計方向回転が指示されたときは前記操作対象オブジェクトを時計方向に回転する時計方向回転手段とをさらに備えることによって、良好な操作性能で方向転換を行うことができる。